

①事業名	【32】特色ある優れた大学教育の一層の展開（グッド・プラクティス（GP））	
②主管課及び関係課（課長名）	（主管課） 高等教育局大学振興課（課長：中岡 司） （関係課） 高等教育局専門教育課（課長：浅田 和伸）	
③施策目標及び達成目標	<p>施策目標 3-1 大学などにおける教育研究の質の向上 達成目標 3-1-1 各大学の個性・特色を踏まえた人材の育成機能を強化するため、大学における教育内容・方法等の改善・充実に図る。</p> <p>（関連） 施策目標 1-4 自立し挑戦する若者の育成 達成目標 1-4-3 大学等において、社会経済の複雑化・高度化に対応し、社会を牽引できるような高度な専門能力等を持つ人材の養成を通じ、若年者の能力向上、就業選択肢の拡大を図る。</p>	
④事業の概要	<p>大学教育改革への種々の取組の中から、国公私を通じた競争的環境の下で特色ある優れた教育プロジェクトを選定し、社会への情報提供とともに、重点的な財政支援を行うことにより、高等教育の更なる活性化を図るため、以下のプログラムを実施する。</p> <p>（1）特色ある大学教育支援プログラム 大学教育改革における特色ある優れた取組を支援 平成18年度新規公募の実施</p> <p>（2）現代的教育ニーズ取組支援プログラム 各種審議会の提言等、社会的要請の強い政策課題に対応した取組を支援 平成18年度新規公募の実施（テーマの見直し）</p>	
⑤予算額及び事業開始年度	平成18年度概算要求額：7,641百万円（平成17年度予算額6,267百万円） 事業開始年度：平成15年度	
⑥事業開始時において得ようとした効果	本事業は、高等教育の活性化を図ることを目的に、大学の教育改革に資する種々の取組のうち特色ある優れたものを選定し、広く社会に情報提供を行うことにより、各大学において、教育改革の取組が積極的に行われることを期待している。	
⑦得られた効果	<p>平成16年度は、「特色ある大学教育支援プログラム」で58件（申請は534件）、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」で86件（申請は559件）の優れた取組を選定。さらに、選定された取組の事例集の作成、フォーラムの開催、ホームページの開設など、広く社会に情報提供したことにより、各大学において積極的な教育改革の取組が行われている。取組が選定されなかった大学においても、申請に至るまでの学内における検討が大学の活性化に役立っている。</p> <p>平成17年度も引き続き各プログラムを実施した。「特色ある大学教育支援プログラム」では47件を選定（申請は410件）、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」では84件を選定（申請は509件）し、各大学における教育改革のインセンティブとなっている。</p>	
⑧得ようとする効果及び上位目標との関係	<p>【得ようとする効果】</p> <p>○継続的に大学教育の特色ある優れた取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、各大学における教育面での改革の取組を一層促進し、大学の教育研究の質の向上を図る。</p> <p>○国公私を通じ、優れた教育プロジェクトを選定し、財政支援を行うことにより、大学間の競争的環境を醸成し、高等教育の活性化を促進する。</p>	<p>⑨達成年度</p> <p>平成20年度</p>
	⑩必要性	<p>大学の個性化、多様化や国際競争力の強化が求められる中、大学における教育の質の充実や世界で活躍し得る人材の養成は、非常に重要な課題となっており、各大学における教育面での改革の取組を一層推進していくことが必要不可欠である。</p> <p>大学教育改革については、これまでの実績や社会的反響から判断し、各大学における積極的な教育改革の取組のインセンティブとなっているとともに、社会的な関心も高まってきており、この事業の必要性は高まっている。このため、新たなテーマ設定や財政支援の強化等、当事業の拡充により、各大学の個性・特色を生かした大学教育改革の促進と高等教育の更なる活性化を図る必要がある。</p> <p>（実績） 「特色ある大学教育支援プログラム」平成15年度 申請：664件、選定80件 平成16年度 申請：534件、選定58件 平成17年度 申請：410件、選定47件</p>

	「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」平成16年度 申請：559件、選定86件 平成17年度 申請：509件、選定84件
⑪効率性	国公私を通じ、大学教育の特色ある優れた取組を選定し、財政支援を行うことにより、競争的な環境の整備や資源配分の効率化が図るとともに、高等教育全体の活性化を促進することができる。
⑫想定できる代替手段との比較考量	
⑬有効性	指標・参考指標
	効果の把握の仕方
	得ようとする効果の達成見込み及びその判断根拠
⑭公平性、優先性	本事業は大学教育改革の推進において、国立・公立・私立の設置形態の別にかかわらず、公平に支援することができるとともに、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005（平成17年6月21日閣議決定）」に記載されている「高等教育の質的向上を図るため、…国公立を通じた競争原理に基づく支援へのシフトを促進する…」にも合致しており、優先すべき政策である。
⑮評価に用いたデータ・情報・外部評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・「特色ある大学教育支援プログラム」選定件数（申請件数） ・「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」選定件数（申請件数） ・各プログラムのフォーラム等の開催状況 ・特色ある大学教育支援プログラム等に関するアンケートの結果 ・各種媒体への各プログラムの記事の掲載状況
⑯備考	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は、21世紀COEプログラム、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ、法科大学院等専門職大学院教育推進プログラム等とともに、「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」として、高等教育の活性化を促進する事業である。 ○本事業に関係する審議会からの提言等 <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀の大学像と今後の改革方策について（H. 10. 10. 26大学審議会答申） ・グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について（H12. 11. 22大学審議会答申） ・新しい時代における教養教育の在り方について（H14. 2. 21中央教育審議会答申） ・新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について（H15. 3. 20中央教育審議会答申） ・内閣府若者自立・挑戦戦略会議「若者自立・挑戦プラン」（H15. 6. 10） ・内閣府「530万人雇用創出プログラム」（H15. 6） ・「国際競争力向上のための研究人材の養成・確保を目指して」（H15. 6科学技術・学術審議会人材委員会第二次提言） ・科学技術と社会という視点に立った人材養成を目指して（H16. 7科学技術・学術審議会人材委員会第三次提言） ・我が国の高等教育の将来像（H17. 1. 28中央教育審議会答申） ・第3期科学技術基本計画の重要政策（中間とりまとめ）（H17. 4科学技術・学術審議会基本計画特別委員会） ・経済財政諮問会議「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（H17. 6）

特色ある優れた大学教育の一層の展開 (グッド・プラクティス(GP))

(平成17年度予算額 63億円)
平成18年度概算要求額 77億円

大学の個性化・多様化や国際競争力の強化が求められる中、**大学教育の質を充実し、世界で活躍しうる人材を養成**

国公立大学を通じた競争原理に基づき、優れた教育プロジェクトを財政支援

特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)

各大学の教育目的に沿った特色ある組織的な取組の中から、特に優れた教育プロジェクトを募集(5テーマ例を提示)・選定し、財政支援を実施。

平成15年度 応募 664件 選定 80件
平成16年度 応募 534件 選定 58件
平成17年度 応募 401件 選定(7月下旬決定予定)

選定された取組については、事例集に取りまとめ、関係機関に配布するとともに、全国(北海道、東京、京都、福岡の4会場)で開催したフォーラムで研究素材に取り上げるなど、広く社会に情報提供。

現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

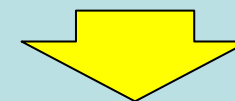
大学教育改革の推進について、各種審議会からの提言等、**社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を対し、各大学で計画された取組**の中から、特に優れた教育プロジェクトを選定し、財政支援を実施。

平成16年度 申請 559件 選定 86件
平成17年度 申請 509件 選定(8月上旬決定予定)

公募テーマ:地域活性化(地元密着型、広域展開型)、知的財産、英語、産学連携教育、e-Learning
選定された取組については、ホームページを開設し事例照会を行うとともに、全国(神奈川、兵庫の2カ所)で開催したフォーラムで研究素材に取り上げるなど、広く社会に情報提供。

平成18年度の計画

社会的要請を踏まえた創造的な大学教育改革の促進とともに人間性豊かな多様な人材養成の推進



既に選定された取組の継続支援

新規公募の実施(新たな社会的要請に対応したテーマ設定が重要)

高等教育の活性化 / 人材養成機能の充実